

1月号

第443号

いっしん

令和4年(2022年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 / FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

生神の
道を辿りて
天地の
神の心の
奥がたずねむ

甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神歌

立教163年／教祖様139年／教団独立122年／小倉教会布教137年／
甘木親教会布教118年／加治木教会布教71年



今日もまた神のみかげに我ありと
思えば樂し喜びの春
身を護る道はいずくと尋ねむに
道を守るの外に道なし
急ぐなよ行くての道は遙かなり
教へのすじをたずねてぞ行け

安武松太郎師 御歌

令和四年の 新春を

迎えさせていただいて

(教会長)

令和四年、立教百六十二年、教祖
様百三十九年、甘木親教会布教百十
八年、加治木教会布教七十一年の新
春を迎えさせていただきました。

令和二年(二〇二〇年)一月に、コロ
ナウイルスの感染者が国内で初めて
確認され、お道でも御本部をはじめ
甘木親教会、そして加治木教会でも、
いろいろな感染対策(密集・密接・密閉
をさける)が取られるようになり、
ちょうど二年が経とうとしています。
少しずつ鎮静化はしているものの、
海外ではまだまだで、国内でもいつ
感染者が増えるかわからないような
ことです。

そのような不安定な世の中だから
こそ、人も社会も助かり立ち行くこ
とができて行かねばなりません。
教祖様がお現われになられたのは、
幕末の変革期で、大変に先行き不安
な社会状況となっていました。

(次ページに続く)

新春をお迎えさせていただいて(教会長)…P1~2
加治木教会 生神金光大神御大祭…P3~4

感詠・お知らせ…P5
教会行事…P6

(前ページの続き)

今の社会も、そこまでの変革期ではないようですが、コロナウイルスの世界的流行により、世界的に不安定な社会状況となっております。

そうでありますからこそ、世界・人類が向かうべき方向をもお示しくださってある、このお道の、教祖様のみ教え、天地の親神様の申し召し、先覚先師のお示し下された道の歩み方を、改めて頂き直し、日常生活の中で見直し現し直しして、助かり立ち行くおかげを蒙らせていただき続けて行かねばなりません。

そのような中に、私どもは、おかげを蒙らせていただき、令和四年の新年を何とか迎えさせていただきました。

これも、おかげを蒙らせていただいているからこそであり、さらに大切な信心のあり方としては「とても人間の知ることのできない、広大なおかげを頂いて、生かされて生きている、そのご恩を知ること」に努める「親神様の偉大なる御神徳に報い奉る」ことができ「神も助かり氏子も立ち行く」ことのできる「あいよかけよ」の「神代の実現」を真に現わ

せて行ける、信心の稽古を進めさせていただくことであろうと思わせていただきます。

本年も共々に、元気な心と体で、万事におかけを蒙らせていただいて行きましょう。



加治木教会

生神金光大神御大祭

仕えられる

尊い天地のお恵み・お働きに恵まれ、今年も田畑に野に山に海に川にと、穀物・野菜・果物と万物を育みお与え下さりお恵みくださいました。そのような季節を迎えて、十一月二十八日(日)に加治木教会では、生神金光大神様の御大祭を仕えさせていただきますました。

生神金光大神御大祭を共々にお仕えし、生神金光大神様をお迎えさせていただいた心持ちをもって御礼申し上げ、さらに、親神様と人との関係をわからせていただき、親神様と心をかよい合わせる信心とならせていただくために、このたびは、大口教会長安武秀信先生をお迎えして祭典後のご教話を拝聴させていただきました。

ご教話では、大口教会での青年信徒が、親から引き継いだ事業を整理して行く上で、自暴自棄になりかけた時に、子供の頃からお引き寄せい



大口教会長 安武秀信先生

ただいていた教会で、お取次ぎを頂き、ひとつひとつの問題を丁寧にご教導いただき、十年をかけて、家庭的に助かり立ち行くことができ、社会にもご迷惑をかけないお繰り合わせをいただくことができた信心の歩みをお話し下さいました。

教話のCDは、希望者に配布させていただきます。コロナ禍の中で信心の研修会も少なくなっていますので、家庭や車の中などで何度も

聴かせていただいで、信心の勉強をさせていただきましよう。教話のCDを希望される方は教会までお知らせ下さい。



安武光太郎先生(人吉教会長)による
立教神伝奉読・前講



生神金光大神御大祭で少年少女会員の チャレンジカードの表彰がありました



御大祭 少年少女会 玉串奉奠 11月28日(日)

※チャレンジ項目の三つ以上
できたら、大人がシールを
貼ってあげました。

- チャレンジ項目**
- ★教会にお参りする
 - ★大きな声であいさつする
 - ★ゴミひろいをする
 - ★親とあとかたづけをする
 - ★ハミガキ、手洗いを
 - ★体そうをする
 - ★嫌いな食べ物を少なくする
 - ★日課通りに生活する
 - ★「けいこ」に挑戦する
 - ★家族とおはなしをする
 - ★はきものをそろえる
 - ★おとちちとばあばあ

- ★チャレンジをする!
- ★サッカーのれんしゅうをする!
- ★ぴろをひく
- ★ペンまわす



5名の少年少女会員が
チャレンジカードに挑戦し
とくみました!



チャレンジカード説明

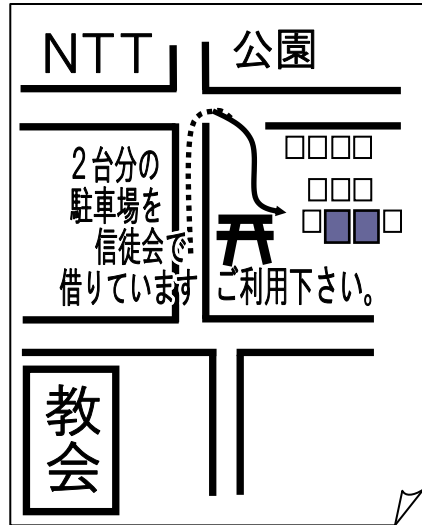
教会長・保護者の方へ

- ・5月1日から7月15日までの期間で取り組んで下さい
- ・チャレンジ項目の最後の空欄のところは各家庭または教会で項目を設定してご記入下さってもよろしいです
- ・チャレンジ項目のうち 3 つ以上出来たら大人(保護者)がシールやスタンプを貼って下さい
- ・シールやスタンプはお好きな物を づ使田下さい

あしあと

加治木教会行事記録

- 12月
- 1 (水) ●報徳月例祭 10時半
 - 3 (金) ●甘木親教会御大祭
 - 8 (水) 連布教協議会(加治木) 10時半
 - 9 (木) 清掃御用 10時
 - 10 (金) ●生野光大神様 月例祭 10時半
 - 12 (日) 御本部布教功労者報徳祭(多摩は未定)
金光鑑太郎君三十年祭
 - 21 (火) 清掃御用 10時
 - 22 (水) ●月例祭・共励会 13時半
 - 29 (水) 清掃御用 10時
 - 30 (木) ●越年祭 13時半



感 詠

教会長

はや師走あれもこれもと年末の
残務を数え心忙し
難もなく努力苦勞もなきことは
進歩のなきと言えはせぬかと
寒中に修行の心抱きつつ
朝の勤めに励み恪しみ
声高に喋りて自転車こぐ娘らは
異国の言葉なにか話して
室内が十度を切る朝多くなる
一年ごとに身に染みわたる
六十二還暦過ぎて故障ある
この年までも命賜り
末々も助かるほどに育てたき
神の願いをたれぞ知るなむ

ご霊神様の
お五日

一月

- 中村宗吉 之霊神(4日) 昭和61年
 - 松田常衛門之霊神(4日) 大正9年
 - 中村正義 之霊神(5日) 昭和21年
 - 内村ハル工 之霊神(6日) 昭和59年
 - 有馬幸子 之霊神(9日) 平成16年
 - 西本五男 之霊神(11日) 平成15年
 - 濱口マツ工 之霊神(11日) 平成27年
 - 濱口勝次 之霊神(11日) 昭和27年
 - 前田正蔵 之霊神(13日) 昭和39年
 - 瀬戸セミ 之霊神(14日) 昭和56年
 - 小屋敷勝 之霊神(14日) 平成1年
 - 信國鈴子 之霊神(20日) 平成5年
 - 中島ふさ 之霊神(20日) 平成16年
 - 福山瑞枝 之霊神(20日) 平成21年
 - 瀬戸俊子 之霊神(23日) 平成27年
 - 柳園義男 之霊神(24日) 昭和8年
 - 本中野イセマツ 之霊神(25日) 昭和59年
 - 岡山エウ 之霊神(25日) 平成20年
 - 桐野仲助 之霊神(27日) 昭和21年
 - 瀬尾 清 之霊神(27日) 昭和41年
- 〔先祖のご霊神様の、現世・幽界(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。〕
立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。



一月三日(月)

甘木親教会年頭参拝

一月九日(日) 十時半より

加治木教会

少年少女会

鏡開き・七草

※おかがみ餅を焼いてのぜんざいと七草たこ焼きを作ります!

一月十日(祝) 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

成人感謝祭 奉仕

※成人者、玉串奉奠・記念品授与。

一月二十三日(日) 十時半より

鹿児島地方教会連合会

定期総会

※コロナ禍のため、一教会、教師一名、信徒一名の限定出席で開催。

教会行事

令和四年

1月

- 1 (祝) ●元日祭 正午
 - 2 (日) ※光風館予約日 10時
 - 3 (月) 甘木親教会年頭参拝
 - 8 (土) 清掃御用 10時
 - 9 (日) ★少年少女会「鏡開き」10時半
 - 10 (祝) ●月例祭・成人感謝祭 10時半
 - 14 (金) 連合会執行部会(上荒田 教会にて) 10時半
 - 21 (金) 清掃御用 10時
 - 22 (土) ●月例祭・共励会 13時半
 - 23 (日) 連合会定期総会(鹿児島 教会にて) 10時
 - 31 (月) 清掃御用 10時
- 《未定行事》青年会・若婦人会

「改まりの願い」(加治木教会)

自己中心の信心から

親神様の御立場に立った信心に、

親神様を使う信心から

親神様にお喜びいただき

「安心いただき

」信用いただく信心に、

おかげを信じる信心から

親神様・ご神慮を信じる信心に、

改まらせていただく。

謹賀新年



2月

- 1 (火) ●報徳月例祭 10時半
- 4 (金) 甘木親教会初代立日
- 9 (水) 清掃御用 10時半
- 10 (木) ●月例祭(祭典のみ) 10時半
- 11 (祝・金) ●加治木教会報徳祭
- 17 (木) ●甘木親教会 報徳祭 11時
- 18 (金) 甘木親教会「同釜会」
- 21 (月) 清掃御用 10時半
- 22 (火) ●月例祭・共励会 13時半
- 28 (月) 清掃御用 10時半

一月二十五日〜二月八日

報徳祭 奉迎

寒中一斉信行

ご祈念・研修 午前五時十五分・午前十時